

## 令和4年度 事業報告概要について

### 1 趣 旨

令和4年度事業計画の上部団体への提出は、日本スポーツ協会・日本オリンピック委員会ともに通年事業終了2か月後までとなっており（コロナウイルスによる緊急事態宣言により、2022年度については3か月後に延長との通達あり）、理事会で機関決定の必要がある。

### 2 追加記述事項

#### 1) 選手強化活動事業

今年度の目標に対する結果分析を記述、主要成果を記載した。また、実施・派遣した主要な合宿・大会及びコーチ設置事業・発掘育成事業について、開催地・機関・参加者などを簡潔に記載した。

#### 2) アスリートパスウェイ委託事業

2021年から2022年の2年にわたるJSC委託事業であり、2021年度の事業報告書から主要な成果を抜粋し、記載した。

#### 3) 競技運営事業

JSCくじ補助金事業で開催した旨を簡潔に記載した。

#### 4) アンチ・ドーピング事業

2022年度事業報告書から主要な成果を抜粋し、記載した。

#### 5) NTC事業

スポーツ庁委託事業の結果を簡潔に記載した。

#### 6) ガバナンス強化事業

2021年度事業報告書から主要な成果を抜粋し、記載した。

#### 7) ガバナンスコードの策定・公表

ガバナンスコードの更新・公表の結果を簡潔に記載した。

## 令和4年度 事業報告

連盟は、日本におけるバイアスロン競技を統轄する団体として、その役割を深く認識し、本連盟加盟都道府県連、日本オリンピック委員会及び日本スポーツ協会、日本スポーツ振興センター、スポーツ庁等との連携を強化するとともに、関係諸団体の支援・協力を得て、次の諸事業を実施した。

### 1 選手強化活動事業・次世代アスリート事業・海外優秀コーチ設置事業

JOC 選手強化事業補助金を活用して、シニア・ジュニア・ユース選手を対象に、海外大会での成果獲得を目的とした国内強化合宿を始めとして第1回海外合宿～ワールドカップ・IBU カップ大会、ユース・ジュニア世界選手権等への派遣事業を行い、競技力の向上を図った。

#### (1) 選手強化活動事業 決算合計額84,847千円

昨年北京オリンピックが終了し、選手の引退に伴い、経験豊富な選手と若手選手の育成を主目的として事業を実施した。その結果、選手層は薄くなるも男女共に目標としていた出場枠3枠を獲得し、ミラノ・コルティナオリンピックに向けた強化を図る事ができた。

2022年度の最終的な国別順位と比較すると、女子は18位と同じ順位であり、男子は17位から23位と大幅に順位を下げってしまった。

個人の最高順位は、立崎芙由子選手がIBUカップ第6戦スプリントで2位という連盟史上最高順位を収めることができた。また、男子は立崎幹人選手がワールドカップにおいて、スプリント及びインディビジュアルで個人ポイントを獲得し昨年以上の成果を収めた。

目標としていた国別順位を獲得したものの、スタッフと選手のコミュニケーションにおいて上手く出来ず、チームの雰囲気には大きな弊害を与える事があった。理由として、予算の関係上、昨年よりもスタッフの数を減少し、業務の負担が多くなる中、選手が求める要求に応える事ができない事が多々あった。

また、日本チームを強化する上で、現在の日本チームの現状及び海外の状況を理解した海外優秀コーチを招聘し、最先端の技術を指導できる体制が必要と感じた。

さらに、まだまだベテラン選手を上回る次世代選手が現れていないのが現状である。次を担う選手のスキルの向上と若手選手の獲得にも力を入れて望まなければ次期オリンピック及びその次に控えるオリンピックの好成績に繋げる事が出来ないと切に感じた。事業を継続して世界と戦いながら学び、分析し成果の向上を図る必要がある。

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			スタッフ	選手
第2回国内強化合宿	北海道(白金地区)	2022年6月20日～ 2022年6月26日(7日間)	4	5
第3回国内強化合宿	北海道(白金地区)	2022年8月29日～2022 年9月3日(6日間)	4	6
第2回海外強化合宿、 IBU ワールドカップ大会第1戦～第4戦、IBU カップ第1戦～第3戦	イタリア、スウェーデン、 フィンランド、オーストリア、 スイス	2022年10月25日～2022 年12月18日(55日間)	12	12
第3回海外強化合宿、 IBU ワールドカップ大会第5戦～第7戦、IBU カップ第4戦～第5戦、 IBU オープンヨーロッパ選手権	ドイツ、イタリア、スロバキア、 チェコ	2022年12月19日～2023 年1月22日(35日間)	12	12
第4回～第5回海外強化合宿、 世界選手権大会、IBU ワールド カップ大会第8戦～第10戦、 IBU カップ第6戦～第8戦	アメリカ、カナダ、ノルウェー、 ドイツ、オーストリア	2023年1月23日～2023 年3月19日(56日間)	12	12
感染症対策事業		通年		
新生活様式選手強化活動事業		通年		

(2) 次世代アスリート事業 決算合計額 34,532千円

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
第1回次世代アスリート海外強化合宿	イタリア、ノルウェー、スウェーデン、オーストリア、スロバキア	2022年10月22日～2023年1月11日(82日間)	2	8
第2回次世代アスリート海外強化合宿	カザフスタン	2023年2月24日～2023年3月3日(8日間)	2	9
ユース・ジュニア世界選手権大会	カザフスタン	2023年3月4日～2023年3月12日(9日間)	2	9
第1回次世代アスリート国内合宿	北海道(白金地区)	2022年6月20日～2022年6月26日(7日間)	1	3
第2回次世代アスリート国内合宿	北海道(西岡地区)、秋田県(花輪地区)	2022年8月1日～2022年8月13日(13日間)	2	5
第3回次世代アスリート国内合宿	北海道(白金地区、西岡地区)、長野県(木島平地区)	2022年8月29日～2022年10月3日(36日間)	5	7
第4回次世代アスリート国内合宿	北海道(白金地区)	2022年12月1日～2022年12月14日(14日間)	2	4
第5回次世代アスリート国内合宿	北海道(西岡地区)	2023年1月2日～2023年1月4日(3日間)	3	3

(3) 海外優秀コーチ設置事業 決算合計額 3,240千円

JOC 補助金を活用して、海外の優秀コーチをナショナルチーム各グループに関する WC 開催地組織委員会との宿泊及びコロナ対策の調整、IBU 各種大会への選手登録及び大会参加エントリー方法、スタッフ及び選手へのコーチング、ナショナルチーム各グループの合宿先調整等々の指導を受けた。

事業名	開催国名・地名	期間	参加状況	
			役員	選手
優秀コーチ設置		通年	2	

2 アスリートパスウェイ委託事業 決算予定額18,444千円

2021年度の第1期生3名と2022年度の第2期生2名を併せて5名を育成した。また、競技の基本教本(バイアスロンハンドブック)及びハンドブックの内容を映像化した教材の制作という取り組みは、本事業でしかなし得なかった成果であった。

事業名	月日	場所	参加数(名)
令和4年度「アスリートパスウェイの戦略的支援」委託事業(競技別コンソーシアムによる地域パスウェイの整備)	2022.04.01- 2023.3.31	札幌市～岩手 県八幡平市	5人

3 競技運営事業 決算額22,158千円

JSC事業補助金などを活用して、下記の事業を開催した。

事業名	月日	場所	参加数(名)
【くじ助成事業】 2022年度 兵庫県サマーバイアスロン大会(体験普及会)	2022年8月20日	須磨射撃場	4名
【くじ助成事業】 第34回サマーバイアスロン日本選手権大会	2022年9月28日～ 2022年10月2日	札幌市豊平区西岡	シニア・ジュニア・ユース他28名
【くじ助成事業】 第32回東日本バイアスロン選手権大会	2023年1月27日-1 月29日	八幡平市田山バイアスロン競技場	36人
第59回バイアスロン日本選手権大会	2023年2月25日-3 月2日	札幌市豊平区西岡バイアスロン競技場	94名
	2023年3月25日-3 月26日		シニア・ジュニア・ユース他25名
第94回宮様国際競技会バイアスロン競技	2023年3月4日-3 月6日	札幌市豊平区西岡バイアスロン競技場	94名
【くじ助成事業】 第19回西日本バイアスロン選手権大会	2023年3月5日	富山県南砺市タカンボースキー場 上平バイアスロン会場	57名

#### 4 アンチ・ドーピング事業 決算額 1 2 3 千円

JSC 事業補助金を活用して、日本フェアネス機構の実施したサマーバイアスロン日本選手権大会・第 59 回バイアスロン日本選手権大会におけるドーピング検査に対して連盟から NRef（窓口担当・付添）を派遣した。併せて、夏季選手強化合宿時・西日本選手権において、強化選手・スタッフに対するアンチ・ドーピング教育を 2 回行った。

事業名	期間	場所	備考
【くじ助成事業】 ドーピング検査事業	1) 2022. 10 2) 2023. 3	札幌市豊平区西岡	NFRep 派遣各 2 名
アンチ・ドーピング教育啓 発事業	1) 2022. 10 2) 2023. 1	1) 札幌市豊平区西岡 2) 岩手県八幡平市	延べ 70 人

#### 5 NTC 事業 決算予定額 1 5, 5 8 8 千円

西岡競技場及び同地域周辺に対する競技別強化拠点に対する各種事業（選手強化のための施設・周辺地域の環境整備）を行い、国別順位に寄与した。

事業名	期間	場所
競技別強化拠点機能強化事業	通年	札幌市豊平区西岡

#### 7 組織運営 決算額 2, 7 1 7 千円

##### (1) ガバナンス強化事業

2022 年度は、日本連盟役員に対するガバナンス強化講習会を行うとともに、加盟都道府県連の役員に対する講習会及びスポーツ団体としてのガバナンスチェックを行い、更なるガバナンス意識の浸透を図ることができた。

日本連盟の役員に対する講習会は、10 月に、弁護士によるガバナンスチェックを兼ねて実施した。加盟都道府県連に対する講習会・ガバナンスチェックは、6 回実施した。

併せて、スポーツ庁が行う「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」に伴うガバナンスコードの策定・公表に伴い、連盟のガバナンス現況と課題を概ね把握することが出来た。

事業名	月日	場所	参加数（名）
【くじ助成事業】 ガバナンス強化事業	通年	鳥取～富山	6 回

##### (2) ガバナンスコードの策定・公表

スポーツ庁が行う「スポーツ・インテグリティの確保に向けたアクションプラン」に伴うガバナンスコードの更新・公表を行った。